

まちかど

楽しい音を子どもたちへ届けます 音楽宅配事業 2/6~8

町内の6小学校で、幸田町文化振興協会による音楽宅配事業が行われました。今回、ヴァイオリンは北島佳奈さんに、ピアノは加地美秀子さんに演奏していただきました。児童たちは「スイミー」を題材にし、場面ごとのストーリーを表現する曲はどんなものが合うか想像してもらいながら演奏を聞きました。ほかにも、音楽にまつわるクイズなどがありました。北島さんは「音楽を通してできた人との出会いを大切にしてほしい」と話してくれました。



▲演奏をする北島さん（左）と加地さん（右）



▲ヴァイオリンの弓は何でできているのかな

テントを町内の小中学校へ！ テント寄贈目録贈呈式 2/7

学校教育備品充実のため、有限会社T-styleからテント9張を寄贈していただいたことを受け、その目録贈呈式を行いました。代表取締役都築球実さんが町長と懇談し、「生まれ育った幸田町のために、引き続き協力をしていきたい」というお言葉をいただきました。寄贈されたテントは、町内全小中学校に1張ずつ配布し、猛暑対策や児童生徒の屋外教育活動などに活用します。



▲目録贈呈式の様子

春季大会初優勝で全国大会へ出場

第49回日本少年野球春季全国大会 出場報告 2/7

埼玉県さいたま市で開催される第49回日本少年野球春季全国大会に、少年硬式野球チーム「三州ポイズ」の出場が決まり、同チームに所属する幸田中学校3年生の長谷丈太郎くんと同校2年生の上田愛斗くんが、町長へその報告に訪れました。11月24日（土）から豊橋市などで開催された愛知県支部予選では見事優勝を飾り、全国大会への出場を決めました。長谷くんは「チーム全員で勝ち進んで全国制覇したい」、上田くんは「先輩の役に立てるよう、大きな声を出して応援したい」とそれぞれ意気込みを語ってくれました。



▲長谷くん（左）と上田くん（右）

身近な情報を広報へ

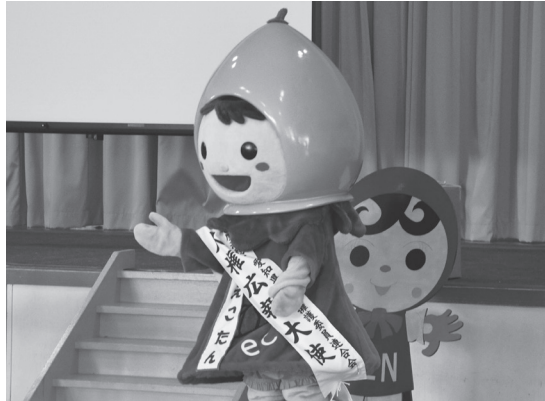
思いやりの心を忘れずに

幼稚園人権集会 **2/7、14、18**

みやこ認定こども園、たつみ第二幼稚園、あけぼの第一幼稚園、あけぼの第二幼稚園で、人権擁護委員による幼稚園人権集会が開催されました。腹話術や朗読を通して、「思いやりの心」を楽しく教えていました。腹話術人形の「ケンちゃん」からなぞなぞが出題されると、園児は元気よく答えていました。あけぼの第一幼稚園では、人権広報大使のえこたんが登場し、園児は大喜びでした。



▲腹話術人形のケンちゃん



▲人権広報大使のえこたんの登場

絵本ライブ!

絵本作家サトシン講演会 **2/9**

町民会館あじさいホールで、絵本作家サトシン氏による講演会「絵本&おてて絵本よみまショー」が開催されました。絵本を歌いながらの読み聞かせは、まさに絵本ライブでした。ほかにも参加者と一緒に絵本を読むコーナーなどがあり、会場は大盛り上がりでした。



▲参加者と即興でストーリーを作るサトシン氏(右)



▲会場は終始ノリノリでした

島原市との歴史的つながりを学ぼう

幸田町・島原市歴史と文化の友好交流シンポジウム **2/10**

中央公民館で、幸田町・島原市歴史と文化の友好交流シンポジウムを行いました。今回は「深溝松平家墓所と藩主松平家墓所-二つのお墓の物語-」と題し、墓所に着目して歴史的なつながりを考えました。翌日には、瑞雲山本光寺で現地説明会を行いました。島原市からは、新聞社とケーブルテレビも取材に駆け付けました。



▲講演する東京芸術大学藤井客員教授



▲現地説明会には寒い中大勢の人が参加しました

フォトニュース

広報直通ダイヤル (0564) 63-5132
FAX (0564) 63-5139
E-mail: kikakujo@town.kotaj.g.jp

まちかど

安全に避難するために

避難誘導路案内標示目録贈呈式 2/13

JR相見駅周辺の被災者や子どもを、最寄りの避難所である幸田高校と北部中学校まで案内するため、一般社団法人愛知県道路標識・標示業協会に避難誘導路案内標示を設置していただきましたので、その目録贈呈式を行いました。

設置された案内標示は、蓄光材が昼間に光を蓄え、夜に放出する素材のため、エネルギーが必要なく、電池切れなどの障害が極めて少なくなります。また、子どもの目線でも確認できるように、目線の低い位置へ設置していただきました。



▲目録贈呈式の様子



▲相見地区に設置された避難誘導路案内標示

思い出がつまった子ども会活動

子ども会大会 2/16

町民会館さくらホールで、子ども会大会を開催しました。大会では、1年間の子どもの会活動を振り返り、子ども会活動の発展・育成に貢献された功労者の表彰や、子ども会書き初め作品展入選者の表彰が行われました。代表児童による体験発表も行われ、子ども会活動で学んだことや思い出に残ったことなどを発表しました。



▲書き初め作品展入選者の表彰



▲体験発表の様子

蒲郡市と連携します！

災害時相互応援協定調印式 2/20

大規模災害時に備え、蒲郡市と災害時相互応援協定を締結しました。この協定は、人的・物的支援、被災者の一時受け入れなどを相互に支援をするものです。幸田町と蒲郡市は、西三河、東三河と地域が異なりますが、幸田町には蒲郡市への区域外就学が認められている児童・生徒がいることや、蒲郡市の海沿いに津波被害が想定されることなど、広域避難が必要です。今後も、災害時の応急・復旧対策が円滑に遂行できるように連携を深め、防災体制の強化に努めます。



▲連携強化に努めます

身近な情報を広報へ

町の特産品をアイデア料理にして紹介！

こうたの農産物を使った料理のレシピ帖 **2/21**

町の魅力ある農産物を使ったアイデア料理を紹介した「こうた幸せのめぐみアイデアレシピ帖」が完成しました。町の生産者が愛情を込めて作った農産物をこうた食生活改善ボランティアが、アイデアにあふれた調理法でおいしくいただく料理を紹介しています。掲載されているレシピは、YouTube町公式チャンネルの動画で見られるようQRコードが貼付されています。レシピ帖は、保健センターと役場1階ロビーに置いてあるのでぜひご覧ください。



▲こうた食生活改善ボランティアの皆さん



▲筆柿を使ったレシピ「やわらか筆柿げんこつ」

ゲームのアイデアで優秀賞を受賞

第39回西三河地区消防職員意見発表会 **2/22**

岡崎市せきれいホールで第39回西三河地区消防職員意見発表会が開催され、幸田町消防本部からは菅沼直也消防士が代表として出場しました。この意見発表会は、職員一人一人が日頃の消防業務の中で改善すべき問題点を取り上げ、独自の観点や発想から解決策を考案し発表する場で、地域住民から信頼される視野の広い職員を教育することも目的として行われています。菅沼消防士は「消防deゲーム」と題し、消火器を使用し、消火訓練の疑似体験ができるゲームのアイデアを発表し、見事優秀賞を受賞しました。



▲力強く発表する菅沼消防士

三河出身の神谷傳兵衛を知ろう

書籍寄贈目録贈呈式 **2/27**

株式会社アジオカから書籍の寄贈を受け、その目録贈呈式を行いました。代表取締役味岡源太郎さんが町長と懇談し、寄贈された書籍で取り上げられている「神谷傳兵衛」の注目すべき功績について熱く語っていただきました。



▲目録贈呈式の様子



▲寄贈された書籍「神谷傳兵衛」

フォトニュース

広報直通ダイヤル (0564) 63-5132
FAX (0564) 63-5139
E-mail: kikakujo@town.kotaj.g.jp